



Nippon Computer Dynamics Co.,Ltd.

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

第53期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

For the Best IT Partner





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第53期中間期(平成29年4月1日から9月30日まで)の事業内容をご報告いたします。
今後とも皆様のご理解と一層のご支援を
賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 下條 治

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、IT関連事業、パーキングシステム事業ともに、人員配置の見直しなど中期経営計画で掲げた業務プロセスの改善が効果を現し、前年同期と比較して利益率が大幅に向上しました。また、パーキングシステム事業では、第3四半期以降に予定していた一部自治体の大型案件が第2四半期に完了したことなどから、前年同期と比較して大幅な増収増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,926百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益422百万円(前年同期比227.8%増)、経常利益433百万円(前年同期比278.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益282百万円(前年同期比204.1%増)となりました。

セグメント別概況につきましては、システム開発事業は、前年同期比で若干の減収となりましたが、地道なプロジェクト進捗管理活動、品質管理強化活動が功を奏し、利益率向上に寄与したことにより、大幅な増益となりました。この結果、売上高2,655百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益230百万円(前年同期比31.7%増)となりました。

サポート&サービス事業におきましては、順調な増員要請に基づく事業拡大が続き、前年同期比で増収となりました。一方、新たなIT基盤領域獲得のための先行投資費用の回収が順調に進み、利益率向上のための諸施策も軌道に乗ってきたことなどから、大幅な増益となりました。この結果、売上高2,188百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益95百万円(前年同期比41.4%増)となりました。

パーキングシステム事業におきましては、自治体向け

の機器販売において大型案件が獲得できたことや、駐輪場利用料収入が着実に増加していることから、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高3,073百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益583百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしました。

修正の理由は、パーキングシステム事業において、大型案件の受注や駐輪場利用料収入が引き続き堅調な推移が見込まれること、また、サポート＆サービス事業において、事業領域拡大に伴う先行投資費用の回収が順調に進んでおり、利益率が大幅に改善される見込みのためです。

売上高	16,000百万円
営業利益	780百万円
経常利益	790百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	510百万円
1株当たり当期純利益	64.22円

(注) 上記業績予想は、平成29年10月27日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

利益配分に関する基本方針及び中間配当

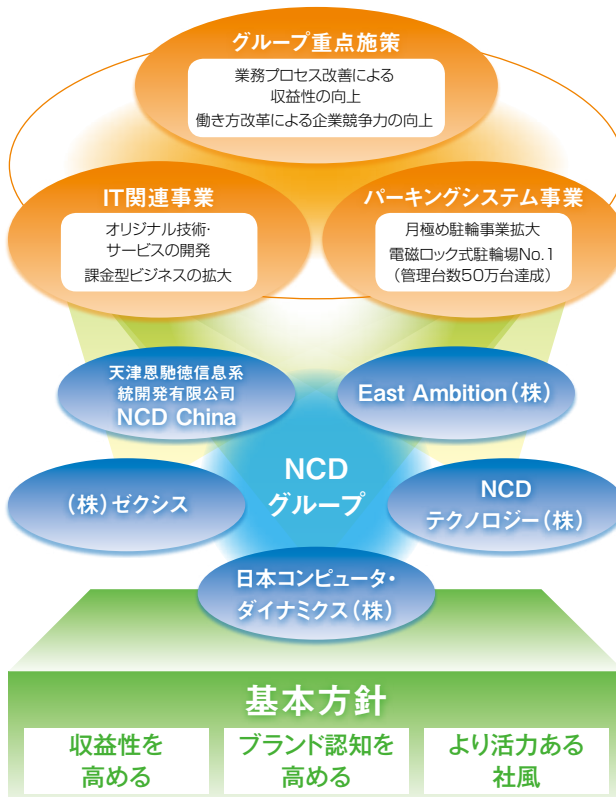
企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針として実践してまいりました。今後におきましても、経営基

盤の一層の強化と積極的な事業展開を継続しつつ、適切な利益還元を実施していく所存であります。

以上の方針に基づき、当期中間配当につきましては、前年度比1円増配し、1株当たり6円とすることにいたしました。

新中期経営計画Vision2020

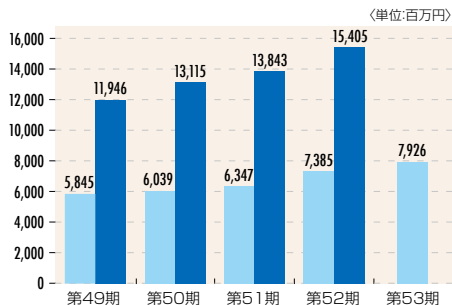
お客さまの「ありがとう」のために、
価値あるサービスを



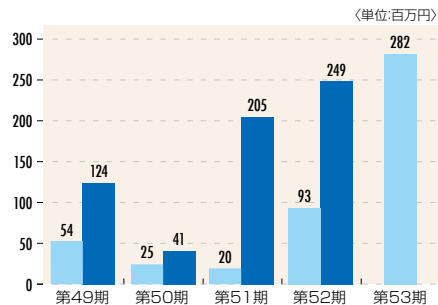
Financial Highlights

連結業績

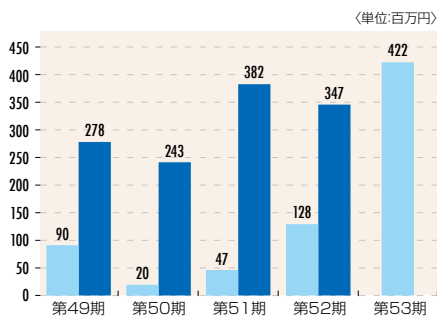
売上高



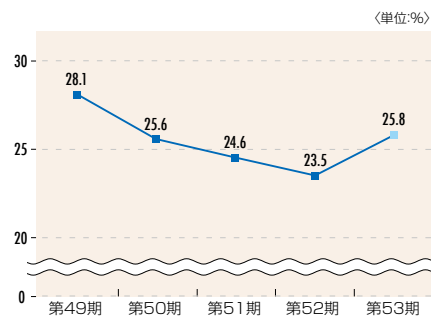
親会社株主に帰属する当期純利益



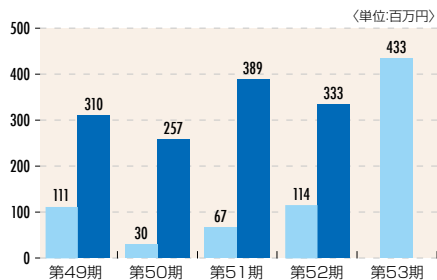
営業利益



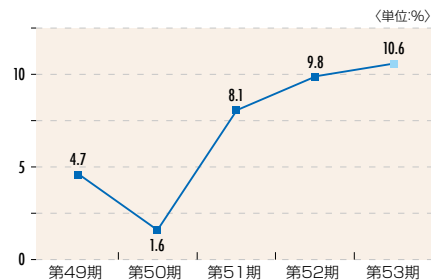
自己資本比率



経常利益



自己資本利益率



中間連結財務諸表（要約）

●中間連結貸借対照表

〈単位:千円〉

科目 \ 期別	当第2四半期末 (平成29年9月30日現在)	前会計年度末 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,664,954	6,541,296
固定資産	4,114,475	4,310,158
有形固定資産	925,442	909,083
無形固定資産	80,908	112,321
投資その他の資産	3,108,124	3,288,753
資産合計	10,779,430	10,851,454
負債の部		
流動負債	3,855,109	3,951,458
固定負債	4,145,113	4,349,152
負債合計	8,000,222	8,300,610
純資産の部		
株主資本	2,695,937	2,468,544
その他の包括利益累計額	83,271	82,299
純資産合計	2,779,208	2,550,843
負債純資産合計	10,779,430	10,851,454

●中間連結損益計算書

〈単位:千円〉

科目 \ 期別	当第2四半期累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	7,926,865	7,385,627
売上原価	6,558,800	6,358,077
売上総利益	1,368,065	1,027,550
販売費及び一般管理費	945,782	898,709
営業利益	422,282	128,840
営業外収益	22,004	13,449
営業外費用	10,374	27,676
経常利益	433,911	114,612
特別損失	14,933	1,816
税金等調整前四半期純利益	418,978	112,795
法人税等	135,996	19,747
四半期純利益	282,982	93,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,982	93,047

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

〈単位:千円〉

科目 \ 期別	当第2四半期累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	科目 \ 期別	当第2四半期累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	421,079	304,130	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 113	△ 257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46,710	△ 80,264	現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	293,078	173,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 81,177	△ 50,330	現金及び現金同等物の期首残高	2,734,408	2,252,141
			現金及び現金同等物の四半期末残高	3,027,487	2,425,419

財務諸表など決算情報は、ホームページで開示しています。 <http://www.ncd.co.jp/>



Salesforce World Tour Tokyo 2017に出展

2017年9月26日(火)、27日(水)に開催された株式会社セールスフォース・ドットコム主催のイベント『Salesforce World Tour Tokyo 2017』に出展しました。

ザ・プリンスパークタワー東京と東京プリンスホテル(27日のみ出展)を会場として、NCDが提供するSalesforce関連サービスとして、タスク管理ツール「SMAGANN」、帳票作成ツール「Smart Report Meister」、画面作成・データ視覚化ツール「Smappi」の3製品について最新情報をお届けしました。

2日間で延べ200名以上の方にブースへお立ち寄りいただくことができ、大盛況の内に終了しました。

出展内容

タスク管理ツール



SMAGANN

帳票作成ツール



Smart Report Meister
for Salesforce

画面作成／データ視覚化ツール



SMAPPI 画面作成・データ視覚化ツール
- Smart Map Project Editor Base -



奉行フォーラム2017 in東京 に出展

2017年10月17日(火)、ANAインターコンチネンタルホテル東京にて開催された「奉行フォーラム2017 in東京」に出展しました。

「奉行流動き方改革」がテーマの本イベントで、NCDでは販売管理システム「商蔵奉行」に連携する「ハンディ倉庫管理 for 商蔵奉行」をご紹介しました。これは商蔵奉行と連携し、ハンディターミナルを使って入出荷検品から棚卸業務、倉庫間振替までを効率的に行えるソリューションです。奉行シリーズのより効果的な活用法や奉行シリーズ導入をご検討中の方々に對して、本ソリューションを活用した物流業務効率化のご提案を行いました。



福岡デリバリセンター(FDC)を設立

IT事業部ソリューションサービス部門において、2017年4月に、福岡を拠点にアプリケーションサービスを提供するデリバリー拠点として「福岡デリバリセンター」(略称FDC)を開設しました。

本センターより元請部門にプロジェクトメンバーとして参画し、東京のプロジェクトに対してニアショアとして業務対応するとともに、本拠点での若手育成を通じて元請プロジェクト要員を継続的に育成し、将来のIT事業拡大に欠かせない人材確保を図ってまいります。



日本初の広告枠ショッピングサイト「Adplace」始動

NCDでは新事業として、広告枠ショッピングサイトというこれまでに無かったサービスを8月より開始しました。「Adplace」では、商材に合った媒体の広告枠を選んで購入し、さらに、媒体に掲載するまでの工程を一貫して行うことができます。

従来の広告媒体検索サービスとは異なり、広告主自身が主体となって効率良く自社の商材に合った媒体を探し出し、申込～入稿～クレジット決済まで、一貫してWeb上で完結できる点がメリットです。



東京都知事より感謝状を拝受

2017年9月14日(木)、東京都知事より駅前放置自転車対策事業に関する感謝状をいただきました。

NCDでは、放置自転車の対策事業に約20年に亘って取り組んでおり、地方自治体や公共団体等の実施する放置自転車対策活動にも賛同し、駅前クリーンキャンペーンや放置自転車対策協議会等に参加しています。今回港区の推薦によりこれら長年の活動実績が認められ、表彰にいたりました。今後も放置自転車対策をより推進し、駅前等の美観保持、住みやすい街づくりに一層貢献してまいります。



BICYCLE CITY EXPO 2017 に出展

2017年9月8日(金)、9日(土)、ベルサール高田馬場にて開催された初の自転車まちづくり博「BICYCLE CITY EXPO 2017」に出展しました。

「自転車で未来のまちづくりを実現する」というこれまでにないコンセプトで開催された本イベントには、行政・民間・教育機関など総勢70団体以上が参加し、安全・健康・環境・観光など多様なテーマでのアイデアや製品・サービスが一堂に会しました。

NCDブースでは、従来の「駐輪場によるきれいなまちづくり」のコンセプトだけでなく、自転車利用者のさまざまなライフスタイルを支援する各種サービスや商品をご紹介します。





JR九州へEcoStation21[®]初導入!

2017年9月26日(火)、福岡市中央区六本松の九州大学キャンパス跡地に複合施設「六本松421」が開業しました。これはJR九州が沿線以外で行う初の大規模開発で、「手の届く上質な日常」をテーマにした先進気鋭の商業施設のほか、科学館や九州大学の一部キャンパス、居住エリアも有する大型複合施設です。周辺には行政機関の移転予定があるなど、福岡の未来のまちづくりを担う注目拠点のひとつになっています。

この「六本松421」お客様用駐輪場にNCDのEcoStation21が採用されました。地上・地下あわせて426台(自転車390台・原付36台)という規模です。

この実績を元に、九州エリアにおいても便利で快適なまちづくりにさらに貢献できるよう推進してまいります。



電動アシスト自転車レンタサイクル開始

NCDでは2014年4月より指定管理者として立川市の自転車駐車場場の運営を行っていますが、今年8月より自主事業の一環として、レンタサイクルサービス「T-BIKE」(ティーバイク)を開始しました。



電動アシスト自転車
(YAMAHA PAS CITY-C)

レンタル用自転車は、コンパクトで快適な乗り心地のヤマハ製電動アシスト自転車を用意。24時間365日利用可能で、6時間500円〜と、利用しやすい価格帯を設定しています。今後は利用状況や利用者の声に応じて、子供乗せ電動アシスト車やクロスバイクの導入も検討しています。

JR立川駅周辺は商業施設が集積し、駅から徒歩圏内には緑豊かな国営昭和記念公園やショッピングモールもあります。本事業を通じて立川市内の観光や買物需要の増進や交通環境の利便性向上を提供し、それらを通じて自転車の楽しさや利便性の周知を図ってまいります。



レンタサイクル貸出場所(立川駅北口西地区有料自転車駐車場)



立川駅周辺



立川駅から徒歩圏内にある昭和記念公園

北区指定管理開始

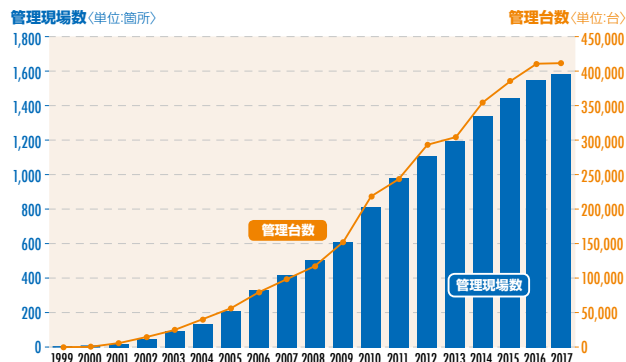
NCDは新たに東京都北区駐輪場の指定管理者に選定され、本年4月より田端駅、尾久駅ほか区内7駅、11駐輪場の運営管理を始めました。

当社が運営管理を始めるにあたり、一時利用が自動化されていない駐輪場に当社駐輪ラック・料金精算機を導入し、また、定期利用にはWEBでの申し込み・決済サービス「ECOPOOL」を採用したことで、24時間年中無休の管理体制と、いつでも、どこからでも定期利用の登録や支払いが行える、非常に利便性の高い駐輪場へと生まれ変わりました。

また、高齢者や三輪自転車ユーザー等の優先スペース設置など、バリアフリーにも配慮。今後は既存施設のラック更新など、さらに安心して使いやすい駐輪場へ改善を図る予定です。

EcoStation21[®]の設置・管理台数が41万台を突破

全国で **1,582** 箇所、**410,902** 台が稼動中 (2017年10月1日現在)



New Release

自転車用盗難防止アラーム・
ウインカー付きテールライト
「nubeam」(ヌービーム)

盗難リスク低減と夜間走行の安全確保をこの1台で

本製品は、盗難防止用の振動センサー式アラームと、後方の車に進行方向を知らせるウインカー、そして6つのモードに切り替えられるテールライトの3つの機能を搭載しています。

製品操作方法を動画でご覧いただけます



NCDグループの状況

NCDグループは、NCD及び子会社の5社で構成されており、システム開発事業、サポート&サービス事業及びパーキングシステム事業を主として行っております。

当社グループ企業とセグメントとの関連は、次のとおりです。

システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、
天津恩馳徳信息系统開発有限公司

- コンサルティング
- システムインテグレーションサービス
- パッケージソリューションサービス
- アプリケーションシステムの保守及び運用

サポート&サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー

- テクニカルサポートサービス
- ヘルプデスクサービス
- アウトソーシングサービス
- システム等管理運営

パーキングシステム事業

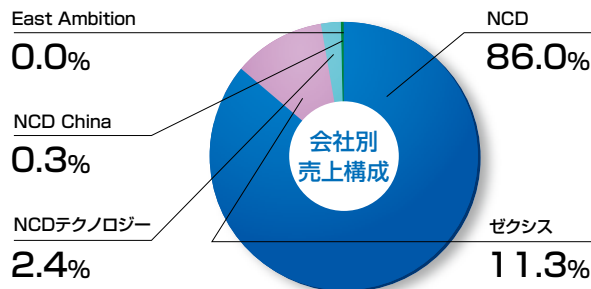
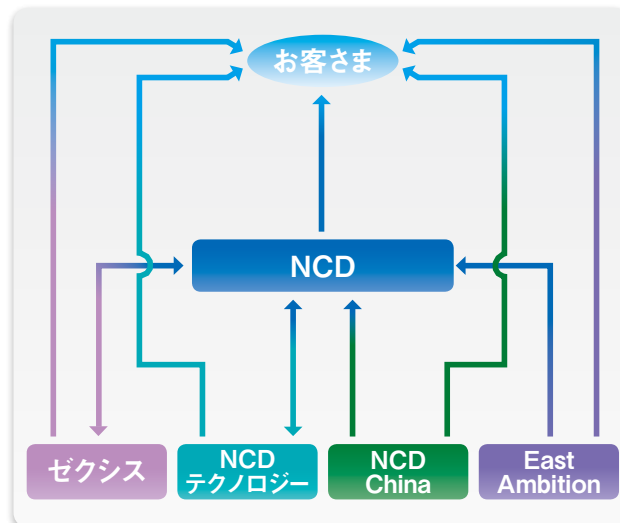
NCD、NCDテクノロジー

- 自転車駐車場管理システムの販売及び運営並びにこれらに関するコンサルティング
- 関連商品の販売

その他

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、East Ambition

- その他のサービス



NCDグループの主要取引先

伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)エスアールエル、(株)オービックビジネスコンサルティング、(株)久月、(株)ぐるなび、(株)ザイマックス、西部ガス情報システム(株)、商船三井システムズ(株)、新日鉄住金ソリューションズ(株)、ソニーグループ、高砂熱学工業(株)、匠大塚(株)、(株)竹中工務店、東京海上グループ、東京ガス(株)、東京ガスネット(株)、東京製鋼(株)、ニッセイ情報テクノロジー(株)、ニフティ(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、日本水産(株)、日本トイザらス(株)、日本ビューレットバックカード(株)、パナソニックグループ、富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス情報システム(株)、マニライフ生命保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、三井物産エレクトロニクス(株)、メットライフ生命保険(株)、(株)ヤクルト本社、CTCテクノロジー(株)、JSRグループ、(株)KADOKAWA、NSSLCサービス(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、SCSK(株)、駐輪場利用者、小田急電鉄(株)、京王電鉄(株)、京浜急行電鉄(株)、西武鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、JR東日本、(同)西友、(株)ダイエー、(株)東急ストア、(株)丸井、(株)ヨシダカメラ、さいたま市、川口市、戸田市、朝霞市、和光市、ふじみ野市、柏市、港区、新宿区、台東区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、江戸川区、立川市、多摩市、川崎市、相模原市、名古屋市中区、福岡県

会社概要 (平成29年9月30日現在)

商 号 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
Nippon Computer Dynamics Co., Ltd. (NCD)

設立年月日 1967(昭和42)年3月16日

資本金 438,750,000円

事業所 **本社** 東京都品川区西五反田四丁目32番1号
福岡営業所 福岡県福岡市博多区千代一丁目19番13号
福岡デリバリセンター 福岡県福岡市博多区千代一丁目19番13号
長崎営業所 長崎県長崎市銅座町4-21 M2銅座ビル11番館 4階
江東サービスセンター 東京都江東区東陽七丁目1番1号

従業員の状況

NCDグループ	NCD
918名	600名

(注) 1. 従業員数は就業人員数であり、執行役員を含みます。
2. 左記には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員及び派遣社員を含みません。

認定資格

ISO9001認証取得 プライバシーマーク付与認定事業者
ISMS(ISO/IEC27001)認証取得 ITSMS(ISO/IEC20000-1)認証取得
日本オラクルEBS CERTIFIED PARTNER認定
OBC ERP SOLUTION PARTNER認定

連結子会社

株式会社ゼクシス
設立: 昭和44年3月 本店: 大阪市中央区 資本金: 96百万円 当社出資比率: 100%
NCDテクノロジー株式会社
設立: 平成12年11月 本店: 東京都品川区 資本金: 40百万円 当社出資比率: 100%
天津恩馳徳信システム開発有限公司(NCD China)
設立: 平成17年4月 本店: 中国天津市 資本金: 300千米ドル 当社出資比率: 100%
East Ambition株式会社
設立: 平成29年2月 本店: 東京都品川区 資本金: 40百万円 当社出資比率: 100%

役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	下條 治	社外取締役 (監査等委員)	中山 かつお	執行役員	田辺 信幸
取締役常務執行役員	上田 晋太郎	社外取締役 (監査等委員)	奥野 滋	執行役員	宮田 大介
取締役執行役員	小林 勇記	社外取締役 (監査等委員)	松山 裕	執行役員	中根 純一
取締役執行役員	高木 洋	社外取締役 (監査等委員)		執行役員	苅辺 勉
社外取締役	高木 洋二				

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 14,000,000株

発行済株式の総数 7,941,416株 (自己株式858,584株を除く)

単元株式数 100株

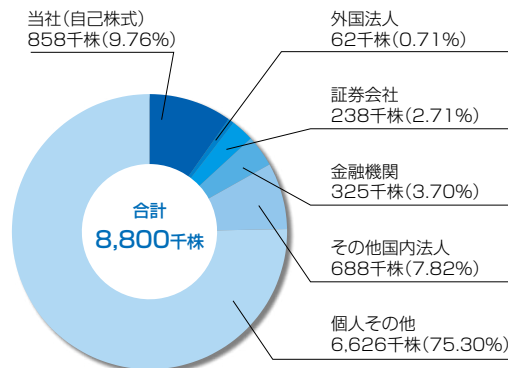
株主数 4,747名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
NCD社員持株会	517千株	6.52%
株式会社北斗	430	5.41
下條 武 男	390	4.91
小 黒 節 子	280	3.53
寺 内 吉 孝	190	2.39
山 田 正 勝	172	2.17
村 山 俊 生	167	2.11
原 晃	134	1.69
原 妙 子	122	1.54
下 條 治	119	1.50

(注) 1. 当社は自己株式(858,584株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式数構成比





事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領
株主確定日 毎年3月31日

中間配当金受領
株主確定日 毎年9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先(注1) 郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場市場 東京証券取引所 JASDAQ市場
(証券コード4783)

公告の方法 電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.ncd.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。
2. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様 毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

1,000株以上3,000株未満保有の株主様:
「JCBギフトカード2,000円分」または「宮城県産米ひとめぼれ2kg」または「日本赤十字社へ2,000円を寄付」

株主優待制度の内容 3,000株以上5,000株未満保有の株主様:
「JCBギフトカード3,000円分」または「宮城県産米ひとめぼれ5kg」または「日本赤十字社へ3,000円を寄付」

5,000株以上保有の株主様:
「JCBギフトカード5,000円分」または「宮城県産米ひとめぼれ10kg」または「日本赤十字社へ5,000円を寄付」

ご希望の優待品を確認させていただいた上で、贈呈及び寄付をいたします。

贈呈時期

贈呈時期は12月下旬以降(JCBギフトカードは1月初旬以降)の発送を予定しております。

※株主優待品の確認のご案内は、10月30日に別途発送いたしました。



当社のウェブサイトでも財務データ、企業情報などを開示しております。ぜひご覧ください。

<http://www.ncd.co.jp/ir/>

NCD IR

検索

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号

TEL.03-5437-1021

企業情報サイト ▶ <http://www.ncd.co.jp/>



本報告書に関するお問合せ先 総務部 TEL.03-5437-1021



この印刷物(冊子)は、地球環境保護のため、ベジタブルインキを使用しています。